あなうさピーターのはなし

ビアトリクス・ポター

目　次11

[あなうさピーターのはなし 4](#_Toc425849291)

[おねずみおばさんのはなし 5](#_Toc425849292)

[きたりすナトキンのはなし 6](#_Toc425849293)

[きつねめさんのはなし 9](#_Toc425849294)

[グロスターのふくやさん 11](#_Toc425849295)

[ごくあくウサギのものがたり 13](#_Toc425849296)

[解説など 14](#_Toc425849297)

あなうさピーターのはなし

　むかしむかし　あるところに　４ひきの　こうさぎが　おりました。　なまえは　それぞれ

フロプシー、

モプシー、

カトンテル、

ピーターです。

　４ひきは　おかあさんと　いっしょに　とってもおおきな　モミのきの　したにある　あなのなかに　すんでいました。

　あるひの　あさ、　あなうさママが　いいました。

「さあ　おまえたち、　のはらのなかや　こみちのさきで　あそんでらっしゃい。　でも、　マグレガーおじさんの　おにわには　いっちゃダメよ。　むかし　おとうさんが　そこで　ひょんなことから　マグレガーおばさんに　つかまって　パイに　されたんだから。」

「いってらっしゃい、　きを　つけるのよ。　おかあさん、　るすに　してるから。」

　それから　あなうさママは　かごと　かさを　てにもって、　もりの　むこうの　パンやさんへ　むかいました。　かったのは　１きんの　くろパンと　ぶどうパンを　５つです。

初出　二〇一五年一〇月五日

※Ｗｅｂ再録など初出を書いておきたいときにはこの書式をどうぞ

おねずみおばさんのはなし

　むかしむかし　あるところに　１びきの　もりねずみが　おりまして、　なまえを　おねずみトマシーナおばさんと　いいました。

　これが　おもしろい　おうちなんです！　いけがきの　ねっこを　めぐって　あっち　こっちへ　つちの　めいろが　できあがっていて、　そのさきに　ものおきやら　きのみや　たねを　たくわえておく　くらが　それぞれ　あったりしまして。

　だいどころや　いまも　ありますし、　それから　しょっきべやや　たべものおきばまで。

　あと　おねずみおばさんの　おやすみする　へやも　ありまして、　そこでは　ねむる　ベッドが　ちいさな　はこに　なっているんです！

　おねずみおばさんは　どを　こえた　きれいずきの　ねずみさんで、　いつだって　やわらかな　つちの　ゆかを　はきそうじ　ちりはらい。

　たまに　まいごに　なった　はむしに　でくわしますと、

「しっ！　しっ！　ばっちい　あしあしさんめ！」と　おねずみおばさんは　もっている　ちりとりを　うちならすのです。

　また　あるひは　ちいさな　おばあさんが　みずたまもようの　あかい　ケープを　はおって　うろちょろしておりました。

「おたくが　いま　もえてるんですって、　ななほしおばさま！　おこさんのいる　おうちへ　とんで　おかえりになって！」

初出　二〇一五年一〇月五日

きたりすナトキンのはなし

　これは　おはなしです――つまりは　きたりすの　しっぽの　はなしで、　そのこの　なまえは　ナトキンと　いいました。

　チンクルベリという　おにいさんと　おおぜいの　いとこがいて、　みんなして　みずうみの　ほとりにある　１ぽんの　きに　すんでいました。

　そのみずうみの　まんなかには　しまが　あって、　もりと　どんぐりの　やぶに　おおわれて、　１ぽんの　がらんどうに　なった　ナラのきが　ありました。　そこは　しまの　ぬしである　ブラウンという　ふくろうの　おうちでした。

　あるとしの　あきは　きのみも　たわわ、　ハシバミの　やぶでも　はっぱが　きいろに　みどり　――　ナトキンと　チンクルベリは　おおぜいの　こどもりすと　いっしょに　もりの　そとへ　でて、　みずうみの　ほとりへと　むかいました。

　ちからを　あわせて　きのえだで　こぶりの　いかだを　つくって、　みなもを　こぎこぎ、　どんぐりを　あつめに　ふくろうの　しまへ　むかいます。

　ひとりひとり　ちいさな　ふくろと　おおきな　オールを　てにして、　ほぬのがわりに　しっぽを　のばします。

　しまの　ぬし　ブラウンへの　てみやげとして　３びきの　ぶくぶくとした　ねずみも　つれていって、　とぐちの　ところへ　さしだしました。

　それから　チンクルベリと　りすいちどうは　いっせいに　ふかぶかと　おじぎを　して、　ていねいな　ことばづかいで、

「しまの　ぬし　ブラウンさま、　どうか　このしまの　どんぐりを　とること　おゆるし　ねがえませんか？」

　ところが　ナトキンの　たいどは　めに　あまるほど　なまいきで、　あかい　サクランボみたいに　ふらふらと　うごきながら　こんなことを　うたうのです。

「なぞなぞ　なぞなぞ　といてみろ！

　あかい　ふく　きた　ちびっこが

　てには　ぼうきれ、　のどには　こいし、

　このなぞ　とけたら　おだちんやるぞ。」

　とはいえ　このなぞなぞは　むかしながらの　ものなので、　しまぬしさまも　ナトキンを　とことん　むししました。

　かたく　めを　つむると　ぐっすり　すやすや。

　りすたちは　ちいさな　ふくろ　いっぱいに　どんぐりを　つめ、　ひが　くれると　いかだを　こいで　おうちへ　かえりました。

　けれども　あくるひの　あさ　ふくろうの　しまに　もういちど　みんなで　むかいました。　チンクルベリたちは　１ぴきの　まるまる　ふとった　もぐらを　もっていって、　しまぬしさまの　とぐちまえにある　いしの　うえへと　のせて、　いいました。
「ブラウンさま、　どうか　もっと　どんぐりを　とること、　おおめに　みて　いただけませんか？」

　ところが　ナトキンは　ぶれいせんばん　ぴょこぴょこ　あたりを　うごきまわって、　しまぬしさまを　イラクサで　ちくりと　さし、　うたを　うたうのです。

「ブーの　じじい、　なぞなぞ　とけよ！

　ヒッチピッチが　かべのなか

　ヒッチピッチは　かべのそと

　ヒッチピッチに　さわったら

　ヒッチピッチが　かみつくぞ！」

　しまぬしさまは　やにわに　めを　あけると、　もぐらを　かかえて　おうちの　なかへ　はいってしまいました。

　ナトキンの　めのまえで　とびらが　しまり、　やがて　まきを　もやす　こい　けむりが　ほっそりと　きの　てっぺんから　ふきだしてきました。　そこで　ナトキンは　かぎあなから　なかを　のぞいて　またしても　うたいます。

「おうちは　いっぱい、　あなも　いっぱい！

　だから　おわん　１ぱいぶんも　あつまらない！」

　りすたちは　しまじゅうで　どんぐりを　さがし、　ちいさな　ふくろを　いっぱいに　しました。
　けれども　ナトキンは　きいろや　あかの　むしこぶを　ひろいあつめて、　ブナの　きりかぶに　すわって　たまあそびを　しながら　しまぬしさまの　おうちの　とびらを　じっと　みはるのです。

初出　二〇一五年一〇月五日

きつねめさんのはなし

　わたくし　これまでたくさん　本を　書いてきましたが、　おぎょうぎのいい　みなさんのお話ばかり。　ですからたまには　いけすかない　おふたりさんの　ものがたりを　しようと思います。　お名前は、　あなぐまトミーと　きつねめさん。
　きつねめさんを　だれも「すてき」と　ほめません。　ウサギたちの　きらわれものです。　おかげで　１キロくらい　はなれていても　においが　わかるくらい。　いつも　きつねひげで　あたりを　うろつく、　行く先なんて　だれにも　さっぱり。

　ある日の　すまいは　ぞうき林の　えだごや、　そのせいで　ぴょんぴょんベンジャミンじいさんの　家ぞくは　びくびくもの。　つぎの日には　みずうみのほとり　ずんぎりやなぎに　お引っこし、　マガモも　ビーバーも　ぶるぶるもの。
　冬や　春先、　見かけるのは　たいてい　土のなか、　おうし土手のてっぺん　岩場のところ、　つまり　むぎむぎいわおの　ふもと。
　そもそも　６つ　おうちが　あるわけですが、　家に　いることは　あまりなく。
　また　そのおうちにしても　いつも　るすというわけでも　なく。　きつねさんが　出かけているとき　たまに　あなぐまトミーが　もぐりこんでいたり　するのです（ことわりも　なしに）。

　あなぐまトミー、　こいつは　ずんぐり　ごわごわ　よたよた　にやにや。　いつも　まんめんの　えみ。　あまり　すてきな　くせとは　いえません。　ハチのすや　カエル　ミミズを　食べて、　月あかりのもと　あたりを　うろついては　ものを　ほりだします。
　めしものは　きたない、　お昼ねのときにも　いつも　くつを　はいたまま　ベッドに　入る、　しかも　もぐりこむ　ねどこは　だいたい　きつねめさんの　ものでした。

　ところで　この　あなぐまトミー、　たまに　ウサギパイを　食べるのです。　とはいえ　ほんの　子ウサギのものを　たまにだけで、　ほんとに　食べもの が　ほかに　ないときだけ。　ぴょんぴょんじいさんとは　気が合うみたいで、　ふたりとも　いじわるカワウソや　きつねめさんが　きらいなのだとか。　え んえん　わる口を　言い合うことも　しばしば。
　ぴょんぴょんじいさんは　もう　だいぶ　おとし。　穴を　出たところ　えりまきまいて　春の日なたぼっこ。　ウサギたばこを　パイプで　ふかしていました。

初出　二〇一五年一〇月五日

グロスターのふくやさん

　つるぎと　カツラが　まだ　あって、　コートの　すそが　長くて、　花がらの　ひらひらの　ついていた　むかし、　男の人も　ひだや　ふさの　ついた　きらびやかな　きぬの　チョッキを　きていた　むかしのこと、　グロスターに　ふくやさんが　おりました。

　その人は、　町の　西門に　かまえた　ちいさな　お店の　まどぎわで、　さぎょう台の上に　あぐらを　かいて、　朝から　ばんまで　すわっていました。
　日の　あるうちは、　ずっと　ぬったり　切ったり、　いろんな　ぬのの　生地を　ぬいあわせておりまして。　サテン、　ポンパドゥール、　ラストリン、 　生地にも　それぞれ　かわった　名前が　あって、　どれも　このお話の　おこったころには、　とても　ねうちの　あるものでした。

　ところが　ご近じょの　おきゃくさんには　上ものの　きぬを　ぬうのに、　そのひとは　とてもとても　まずしくて　――　そのこがらな　メガネおじいさんは、　やつれた顔、　まがったゆび、　すりきれた　上下のふくと　いうありさま。
　ぬいとりの　ぬのに　合わせて、　むだなく　ふくの　かたちを　たち切りましたから、　さぎょう台の上に　ちらかるのは、　ほんの少しの　切れはしだけ 　――「はしきれすぎて、　どうにもならない　――　ネズミの　チョッキには　なるくらいだ。」と　ふくやさんは　言います。

　クリスマスも　近づいた　ある　さむさも　きびしい日、　ふくやさんは　コートを　作りはじめました　――　パンジーや　バラの　ししゅう入りの　さく らんぼ色した　うねおりの　きぬの　コートと、　クリーム色した　サテンの　チョッキ　――　ゴーズと　緑の　ウーステッドの　シニョール糸で　かざりつ けられていて　――　グロスターの　町長のための　あつらえものです。
　ふくやさんは　はたらきづめで、　ひとりごと。　きぬを　すんぽう　取って、　くるくる　回して、　大ばさみで　かたどおりに　切りととのえていきました。　さぎょう台じゅうに、　さくらんぼ色の　切れはしが　とっちらかります。
「あまりは　なし、　たち合わせも　ばっちり、　それ　あまりは　なしだ、　あっても　ネズミの　かたかけ、　小ものの　リボンが　できるだけ！　できるだけ！」と　グロスターの　ふくやさんは　言いました。

初出　二〇一五年一〇月五日

ごくあくウサギのものがたり

　こちらは　ごくあくウサギ。　ほら、　げひんな　おひげに　するどい　つめ、　それに　あの　さかだった　しっぽ。

　こちらは　おっとりウサギ。　てには　おかあさんから　もらった　ニンジンです。

　わるウサギが　ニンジンを　ほしがりました。

初出　二〇一五年一〇月五日

解説など

**フォントについて**

本文のフォントには三番明朝（日本語）Times New Roman（英数字）を指定してあります。

三番明朝のダウンロードはこちらから。

<http://www.akenotsuki.com/eyeben/fonts/sammin.html>

章タイトルにはNoto Sans CJK JP のRegularを指定しています。

ダウンロードはこちらから。

<https://www.google.com/get/noto/#sans-jpan>

**表紙、目次、奥付について**

不要であれば削除して下さい。

**目次について**

目次は実際に章タイトル・本文を書き込んだあと、目次の章タイトル部分を右クリックして「フィールド更新」→「目次をすべて更新する」を選択して下さい。

目次を更新すると数字が横に倒れてしまうため、「目次」の文字の次にある「11」を選択し、拡張書式ボタンから「縦中横」を呼び出して「すべて変更」→「次を検索」で目次の数字を縦書きに変更して下さい。

※「11」は不要になったら消して下さい。

８～12章程度で落ち着くレイアウトになっています。章目次の数に応じて「目次章タイトル」のスタイルの「段落→インデントと行間隔→段落後」の数字を適宜変更してレイアウトを調節して下さい。

参考：<http://www.pixiv.net/member_illust.php?mode=manga&illust_id=47268978>

**「初出」について**

Ｗｅｂ再録短編集など、初出の日付を記しておきたい場合のためのスタイルです。不要であれば削除して下さい。

**フッターについて**

奇数ページにはページ数、偶数ページにはページ数と章タイトルが反映されるよう設定してあります。

ページ番号について

表紙…１

表紙裏…２

目次…３

目次裏…４

本文…５

となっています。５ページ目の

**文章サンプルについて**

青空文庫の「あなうさピーターのはなし」シリーズを使用させていただいています。

http://www.aozora.gr.jp/index\_pages/person1505.html

あなうさピーターのはなし

|  |  |
| --- | --- |
| 発行日 | 201X年XX月XX日 |
| 著者 | 著者名（TwitterID @sample） |
| 発行元 | サークル名 http://www.address.net/ |
| 連絡先 | sample@gmail.com |
| 印刷 | 印刷会社名 |

※この冊子は個人によるファンブックであり、実際の人物や作品、団体とは関係がありません。オークション等への転売は何卒ご遠慮下さい。